

福岡市雁の巣レクリエーションセンターの指定管理者が行う管理業務

1. 管理運営に関する業務

- ア 施設利用者の受付等
- イ 施設使用料の徴収事務
- ウ 施設使用料の減免に関する事務
- エ 施設利用者の優先利用の調整・受付
- オ 福岡市雁の巣レクリエーションセンター条例（以下、「条例」という。）第 3 条第 1 項に規定する行為の制限に関する利用の受付
- カ 条例第 4 条に規定する行為の禁止に関する利用者への利用指導
- キ 園内施設（条例第 7 条第 1 項の許可に係るものを除く。）の維持管理
- ク 樹木、芝等植物育成管理
- ケ 清掃及びゴミ収集と処理
- コ レジャー農園の管理運営
- サ 巡視・点検
- シ 巡回・機械警備業務
- ス 駐車場の管理及び不法利用者等への指導（駐車場料金徴収を含む）
- セ 火災報知器、機械設備等の管理
- ソ 福岡市雁の巣レクリエーションセンターに係る園内及び園外の苦情処理業務
- タ 軽微な修繕（1 件 30 万円未満）

2. 施設の運営に関すること

- ア 福岡市公共施設予約システムによる施設利用者の受付業務
- イ 福岡市公共施設予約システムの登録申請等受付業務
- ウ 福岡市公共施設予約システムによらない施設利用者の受付、利用承認及び利用券の交付に関する事務
 - ・ 自転車、温水シャワー、駐車場を除いた施設利用者及び行為使用者に対しては、申請書を受け付け、現金で使用料を収納し、金銭登録機により作成した領収書を交付すること。ただし、金銭登録機を使用した収納事務が金銭登録機の故障等によりできない場合は、現金領収帳により行うこと。
 - ・ 自転車利用者に対し、券売機で使用料を収納し、利用券を発券する。ただし、券売機を使用した収納事務が券売機の故障等によりできない場合は、現金で使用料を収納し、金銭登録機により作成した領収書を交付すること。なお、金銭登録機を使用した収納事務が金銭登録機の故障等によりできない場合は、現金領収帳により行うこと。
 - ・ 温水シャワー利用者に対しては、使用料を収納し、利用券は発券しない。
 - ・ 駐車場利用者に対しては、自動精算機で使用料を収納し、利用券を発行する。

3. 使用料の収納に関する事務（「公金の徴収又は収納事務の委託」の手引参照）

- ア 使用料の徴収に当たっては、調定・収入簿を作成し、会計年度毎に整理するものとする。
- イ 当日収納した現金について、その内容を示す収納金日計報告書を作成し、速やかに市長に報告するもの。
- ウ 調定及び収納は、1 日単位をもって行うものとする。
- エ 使用料を徴収したときは収納した現金を確実な方法により保管し、金融機関の翌営業日（当日が休園日の場合は、その翌営業日）までに払込書により福岡市指定金融機関等に振込まなければならない。ただし、金土日祝日の収納分については、払込特例が認められる。金土日祝日の収納分は、翌営業日に警備会社において回収し精査を行い、回収日

の翌々営業日までに振込まなければならない。

払込期限を経過して振込まれた場合、市は所定期限の翌日から振込まれた日までの日数に応じ、この協定の締結の日における政府契約の支払遅延防止等に関する法律（昭和 24 年法律第 256 号）第 8 条第 1 項の規定に基づき財務大臣が決定する遅延利息の率の割合で計算した額の遅滞利息の支払を請求することができる。ただし、天災事変その他特別の理由があるときは減免できるものとする。

- オ 現金の収納について領収者を置くものとする。この場合、直ちにその者の氏名及び印鑑を記載した「領収書等の領収者及び領収印について」の報告書により市へ提出するものとする。
- カ 現金の取扱いについては、現金出納簿を作成し、その出納を明らかにするものとする。
- キ 現金領収帳を受け払った場合は、受払簿により整理し、その出納を明らかにするものとする。
- ク 指定管理者は、その保管又は取扱う現金若しくは有価証券を亡失し、又は毀損したときは、現金等亡失・毀損報告書によりただちに市に届け出てその指示を受けなければならない。
- ケ 指定管理者は管理業務に関する文書は、事務及び事業の性質、内容等に応じて系統的に分類するとともに、会計年度又は暦年ごとに整理し適正に保存しなければならない。
- コ 公文書を保存すべき期間(以下「保存期間」という。)は、法令等に別の定めがあるもののほか、公文書の区分に応じ、別表「様式及び保存期間」に定める種別ごとの保存期間を基準とし、職務の遂行上必要があるとき、その他特別の事由があるときは、これを延長することがある。